

第2章 金沢市の地域特性

1. 自然的特性

(1) 位置、地形

本市は、石川県のほぼ中央に位置し、西は日本海に面した海岸の砂丘が北部の内灘砂丘まで続き、東から南東にかけては医王の山並みや海拔1,500mを超える奈良岳、大門岳などの山岳地帯が富山県との県境を形成しています。西部に広がる平野は、傾斜が緩やかな北部の沖積平野と、南部の手取川扇状地とに分かれます。中心市街地は、寺町台地、小立野台地、卯辰山の3つの丘陵・台地とその間を流れる犀川、浅野川の2つの河川で構成される起伏に富んだ地形を有しています。



(2) 気象

本市は、夏は湿度が高く蒸し暑く、冬は積雪の伴う寒い日が続く日本海側気候に属し、年間を通じて雨や雪が多い特徴を持っています。過去30年間(1971～2000年)の年平均気温は14.3℃、年間降水量は2,470mmです(図2.1-1)。

平均気温、降水量及び降雪量の経年変化をみると、平均気温は上昇傾向、降水量は減少傾向にあり、降雪量は近年大きく減少しています(図2.1-2、2.1-3)。

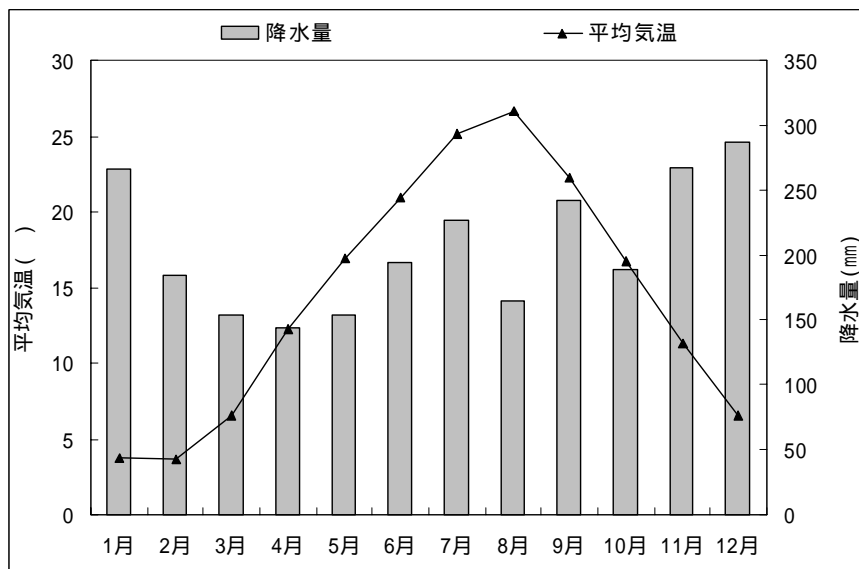


図 2.1-1 月別平均気温と降水量 (1971～2000年)

出典：「金沢地方気象台 平年値」気象庁ホームページ

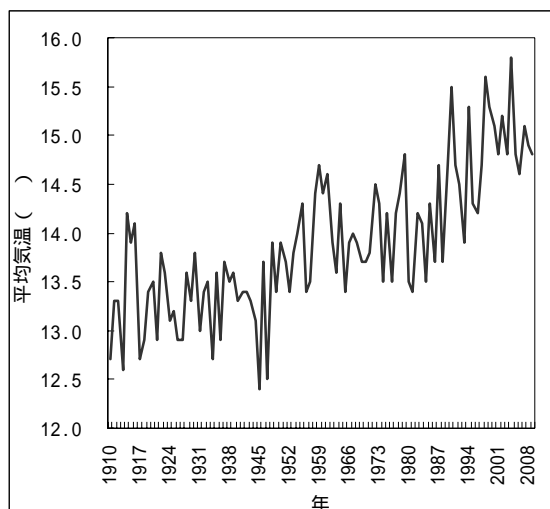


図 2.1-2 年間平均気温の推移 (1910～2009年)

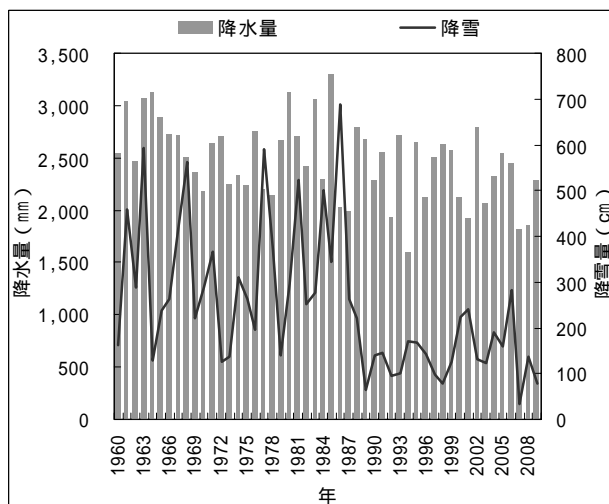


図 2.1-3 年間降水量及び降雪量の推移 (1960～2009年)

出典：「金沢地方気象台 平年値」気象庁ホームページ

真夏日（最高気温 30 以上）や猛暑日（最高気温 35 以上）の日数は、年度により増減がありますが、ここ 50 年間で大きな変化はありません。また、近年、真冬日（最高気温 0 未満）を記録した年はほとんどありません（図 2.1-4）。

一方、冬日（最低気温 0 未満）の日数は、近年 20 日前後で推移し、30～50 年前に比べると減少しています（図 2.1-5）。

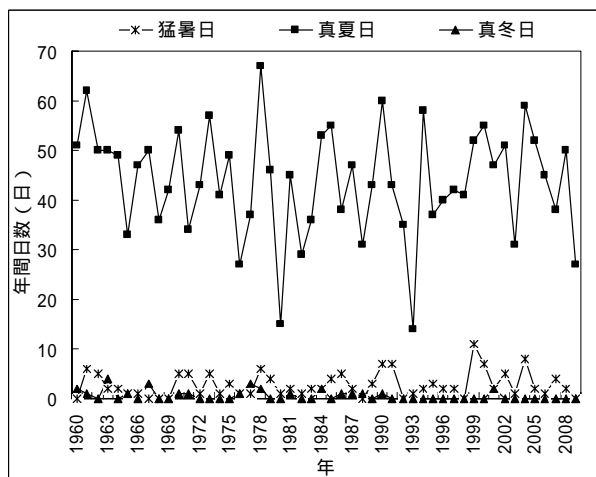


図 2.1-4 真夏日、猛暑日、真冬日の日数の推移 (1960～2009年)

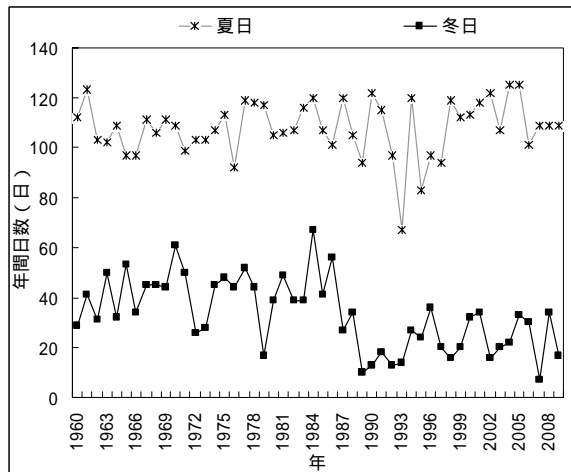


図 2.1-5 夏日、冬日の日数の推移 (1960～2009年)

出典：「金沢地方気象台 平年値」気象庁ホームページ

(3) 土地利用

本市の総面積は467.77km²であり、そのうち約40%が有租地、約14%が国有地です。有租地の内訳は山林が43.2%と最も多く、次いで宅地が24.0%、田が18.3%となっています(図2.1-6)。経年変化をみると、宅地の割合が増加し、田の割合が減少しています(図2.1-7)。

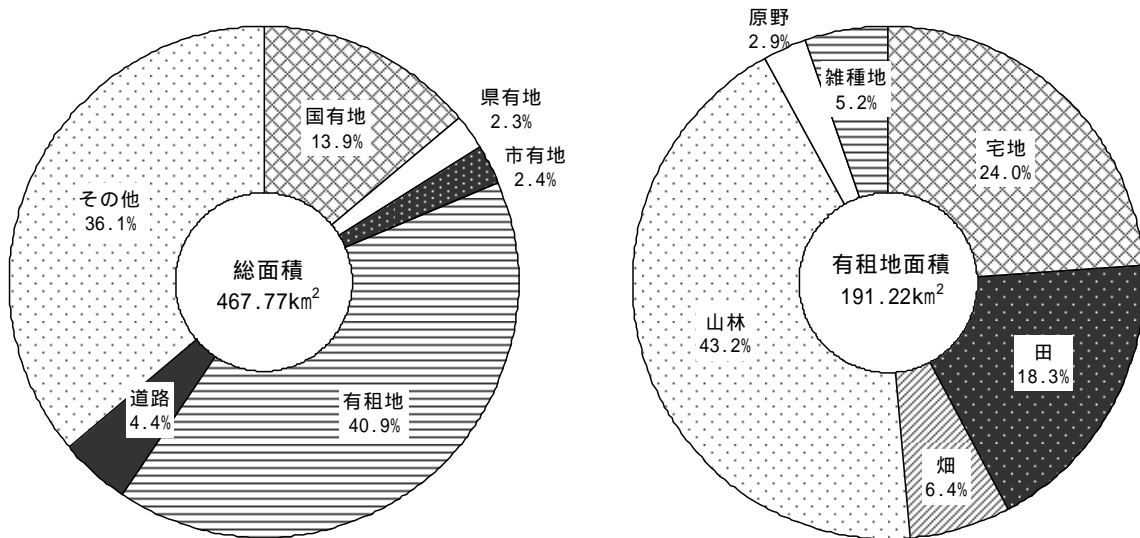


図 2.1-6 土地利用状況 (2008 年)

出典：「平成 20 年度、21 年度金沢市統計書 1.土地・気象」金沢市ホームページ 金沢市統計データ集

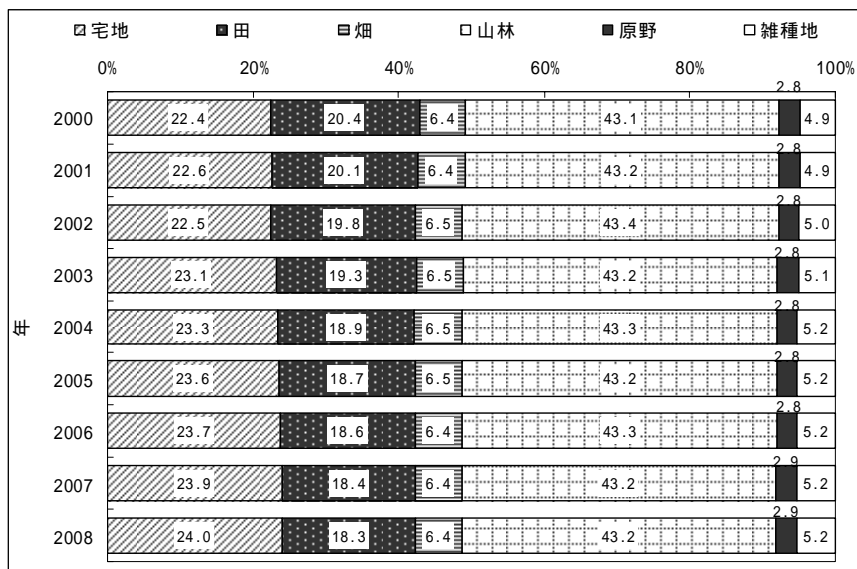


図 2.1-7 有租地利用状況の推移 (2000 ~ 2008 年)

出典：「平成 20 年度、21 年度金沢市統計書 1.土地・気象」金沢市ホームページ 金沢市統計データ集

2. 社会的特性

(1) 人口、世帯数

本市の人口は、2000年から減少傾向でしたが、2006年以降は増加に転じており、2009年の人口は2000年より966人(0.2%)増加し、457,404人です。世帯数は年々増加しており、2009年の世帯数は2000年より11,929世帯(6.7%)増加し、189,615世帯です(図2.2-1)。2009年の1世帯あたり人口は2.41人であり、2000年より0.15人/世帯減少しています。

2000年と2009年の年齢層別人口を比較すると、2000年に比べて2009年は年少人口(0~14歳)が少なく、65歳以上の高齢人口が増加しています(図2.2-2、2.2-3)。

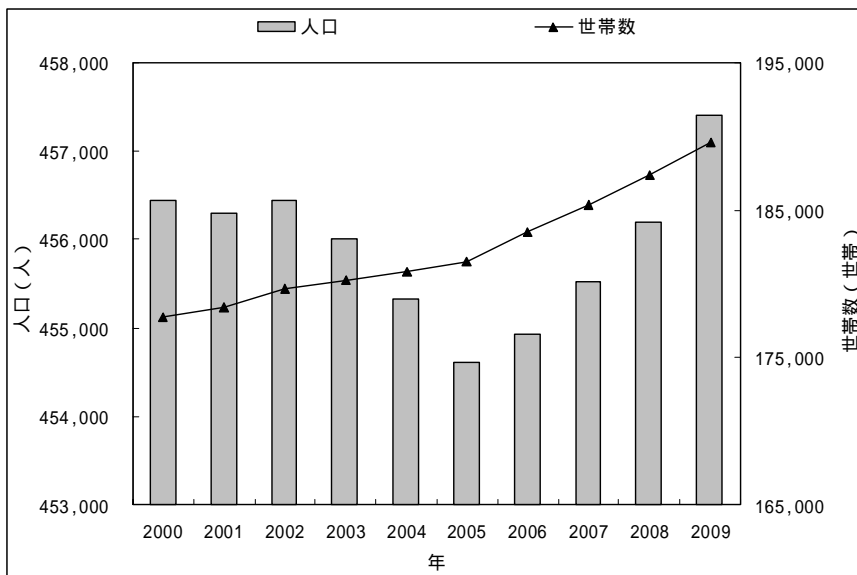


図 2.2-1 人口及び世帯数の推移 (2000～2010年)

出典：「金沢市推計人口」金沢市ホームページ 金沢市統計データ集 人口・世帯数

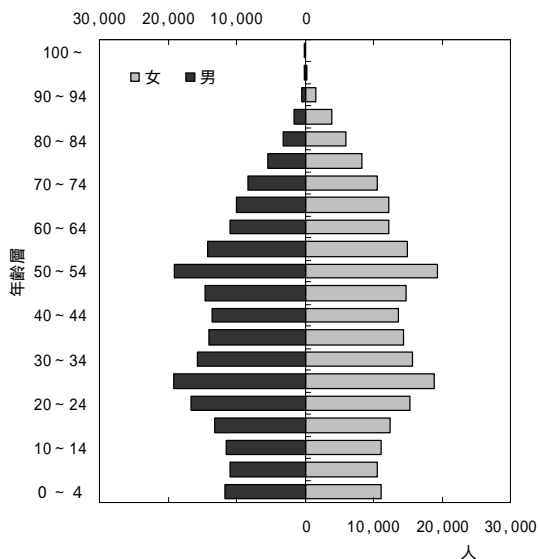


図 2.2-2 年齢別、男女別人口 (2000年)

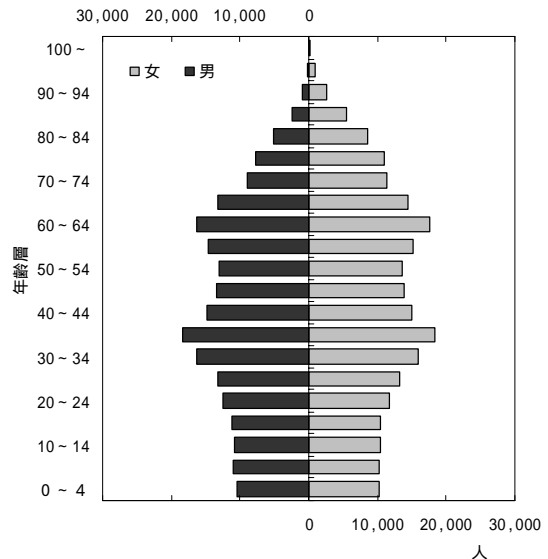


図 2.2-3 年齢別、男女別人口 (2009年)

出典：「住民基本台帳人口 年齢別人口・世帯数」金沢市ホームページ 金沢市統計データ集 人口・世帯数

(2) 産業構造

2006年の事業所数及び従業者数はともに、第3次産業が80%を超えており、第2次産業は約18%、第1次産業は約0.1%となっています(表2.2-1)。経年変化をみると、総事業所数は年々減少しており、従業者数も1996年以降減少しています(図2.2-4、2.2-5)。

表2.2-1 産業中分類別事業所数及び従業者数(2001、2006年)

産業分類	事業所数 (事業所)		従業者数 (人)		事業所数 構成比(%)		従業者数 構成比(%)	
	2001	2006	2001	2006	2001	2006	2001	2006
総数	29,538	27,512	267,985	259,228	100	100	100	100
第1次産業	40	35	331	228	0.1	0.1	0.1	0.1
農業	24	24	185	124	0.1	0.1	0.1	0.0
林業	5	3	52	36	0.0	0.0	0.0	0.0
漁業	11	8	94	68	0.0	0.0	0.0	0.0
第2次産業	5,411	4,815	52,690	47,062	18.3	17.5	19.7	18.2
鉱業	7	7	39	42	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	2,856	2,613	25,404	21,831	9.7	9.5	9.5	8.4
製造業	2,548	2,195	27,247	25,189	8.6	8.0	10.2	9.7
第3次産業	24,087	22,662	214,964	211,938	81.6	82.4	80.2	81.7
電気・ガス・熱供給・水道業	22	17	1,048	985	0.1	0.1	0.4	0.4
情報通信業	394	392	10,370	8,947	1.3	1.4	3.9	3.5
運輸業	655	613	12,321	12,711	2.2	2.2	4.6	4.9
卸売・小売業	8,463	7,579	67,177	60,226	28.8	27.5	25.1	23.1
金融・保険業	642	551	10,453	8,538	2.2	2.0	3.9	3.3
不動産業	1,577	1,516	4,450	4,756	5.3	5.5	1.7	1.8
飲食店、宿泊業	4,168	3,728	25,292	24,773	14.1	13.6	9.4	9.6
医療、福祉	1,206	1,346	21,229	24,242	4.1	4.9	7.9	9.4
教育、学習支援業	1,120	1,079	13,170	12,768	3.8	3.9	4.9	4.9
複合サービス事業	253	236	2,082	2,613	0.9	0.9	0.8	1.0
サービス業(他に分類されないもの)	5,438	5,460	37,792	43,138	18.4	19.8	14.1	16.6
公務	149	145	9,580	8,241	0.5	0.5	3.6	3.2

出典：「事業所・企業統計調査結果」金沢市ホームページ 金沢市統計データ集 基幹統計調査

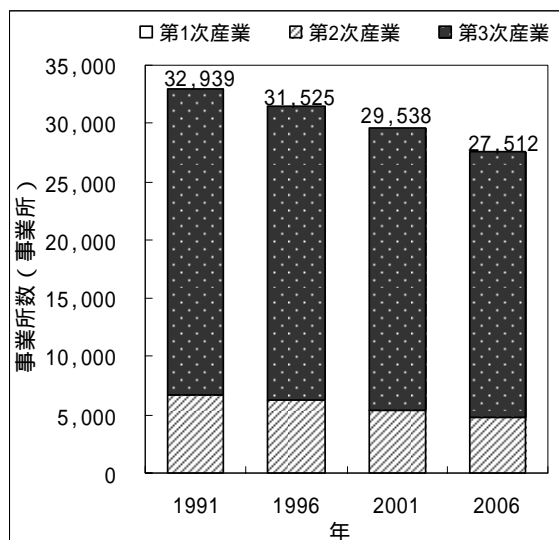


図 2.2-4 事業所数の推移
(1991、1996、2001、2006年)

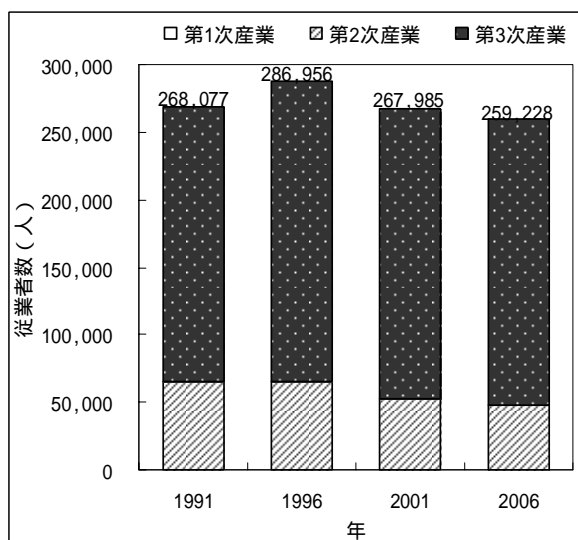


図 2.2-5 従業員数の推移
(1991、1996、2001、2006年)

出典：「平成3年、8年 石川県統計書 4事業所」石川県

「事業所・企業統計調査結果」金沢市ホームページ 金沢市統計データ集 基幹統計調査

1) 農業

農作物の収穫高は、いねが最も多く、2008年は12,300tとなっています。次いで、野菜類（果菜）、野菜類（根菜）の順になっています。経年変化をみると、総収穫高は減少傾向にあり、特に野菜類（果菜）及び野菜類（根菜）の収穫高が減少しています（図2.2-6）。

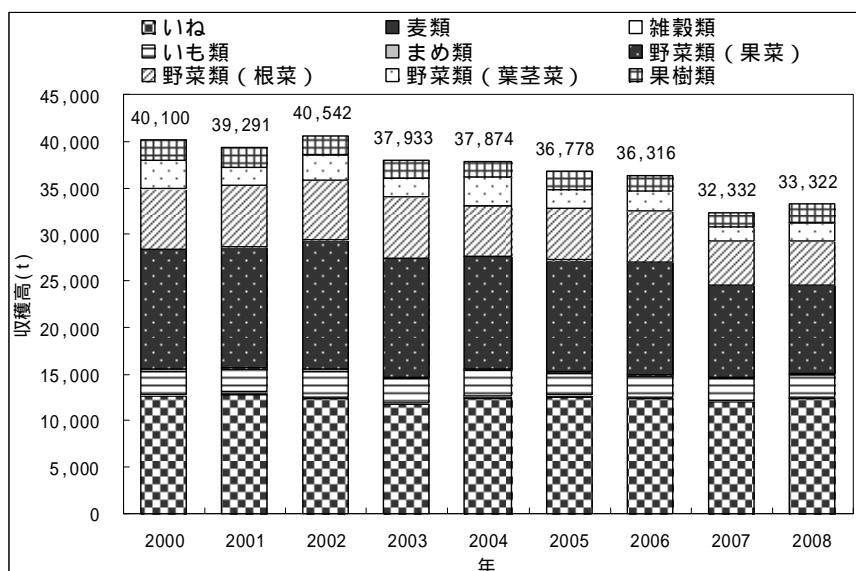


図 2.2-6 農作物別収穫高の推移 (2000～2008年)

出典：「平成21年度金沢市統計書 4農林漁業」金沢市ホームページ 金沢市統計データ集

2) 工業（製造業）

製造品出荷額は、年により変動はありますが、緩やかな減少傾向を示し、2002年以降は50億円台で推移しています。内訳をみると、機械製造業及び食料品製造業の占める割合が高くなっています（図2.2-7）。

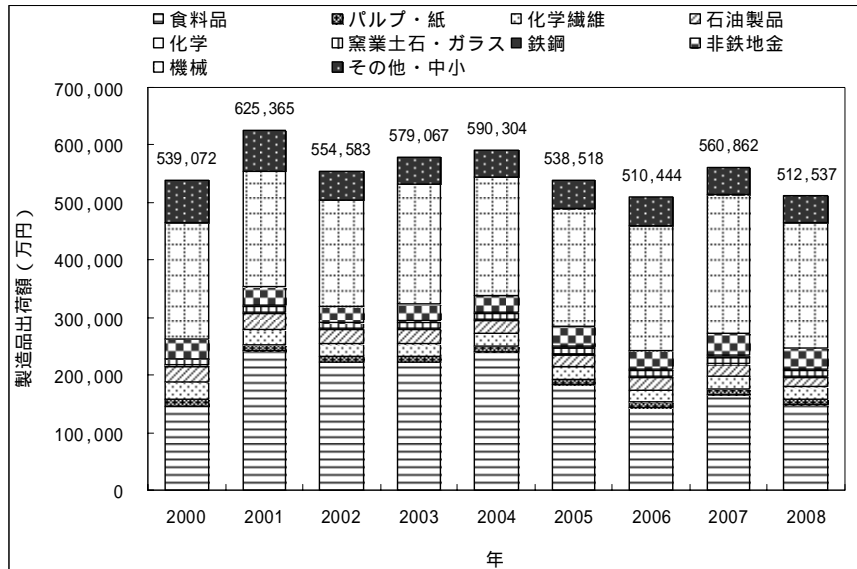


図 2.2-7 製造品出荷額の推移 (2000～2008年)

出典：「工業統計調査結果」金沢市ホームページ 金沢市統計データ集 基幹統計調査

3) 商業

商品販売額は年々減少しており、2007年には27,869億円となっています。特に商品販売額のうち約8割を占める卸売業が大きく減少しています（図2.2-8）。

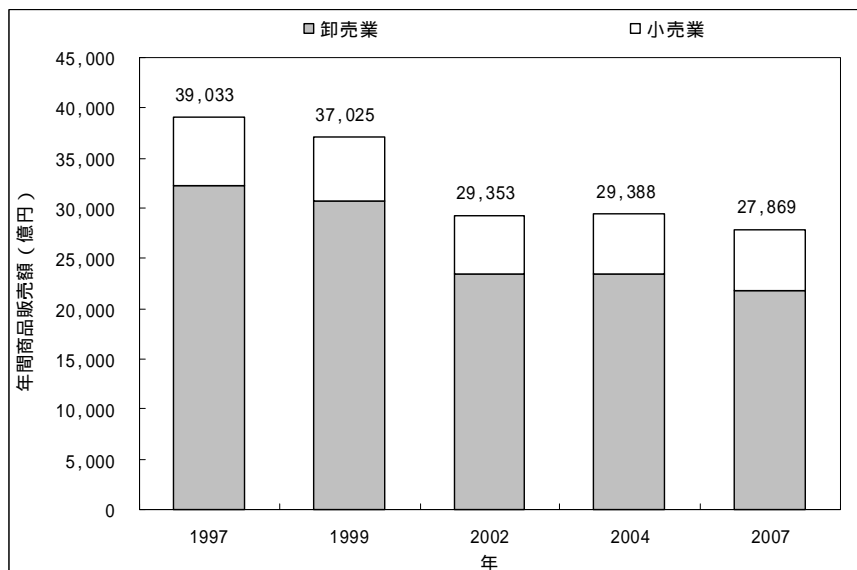


図 2.2-8 商品販売額の推移 (1997、1999、2002、2004、2007年)

出典：「平成21年度 金沢市統計書 6商業」金沢市ホームページ 金沢市統計データ集

(3) 交通

本市の自動車保有台数は微増傾向にあり、2008年の保有台数は312,737台です。特に、軽乗用車は増加しており、軽乗用車の占める割合は2000年には約14%でしたが2008年には約23%となっています。一方、普通・小型乗用車は2005年まで増加していましたが、近年は減少傾向にあります(図2.2-9)。

市内線のバス乗客数は、2000年度以降で約500万人減少しましたが、近年は横這いとなり、約2,200万人で推移しています(図2.2-10)。

市内の駅を利用する鉄道利用者数はバス乗客数と同様の傾向を示し、2000年度以降で約40万人減少し、2008年度は1,160万人となっています(図2.2-11)。

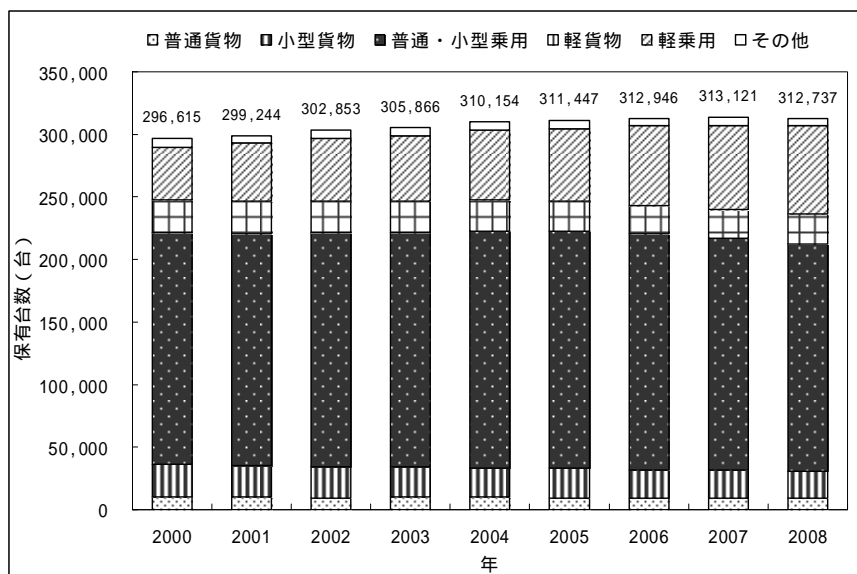


図 2.2-9 自動車保有台数の推移 (2000～2008年)

出典：「平成21年度 金沢市統計書 8 運輸・通信」金沢市ホームページ 金沢市統計データ集

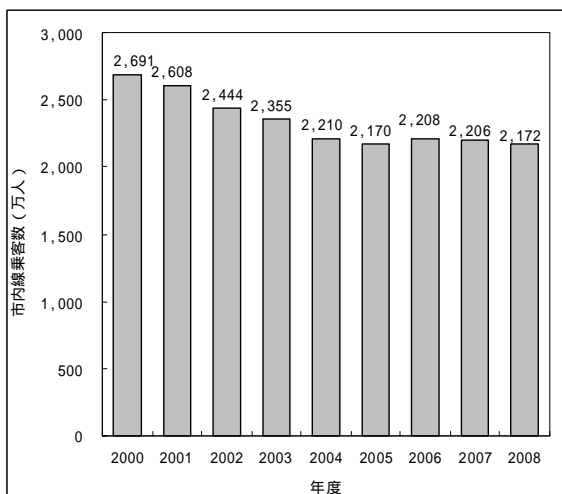


図 2.2-10 バス乗客数の推移 (2000～2008年度)

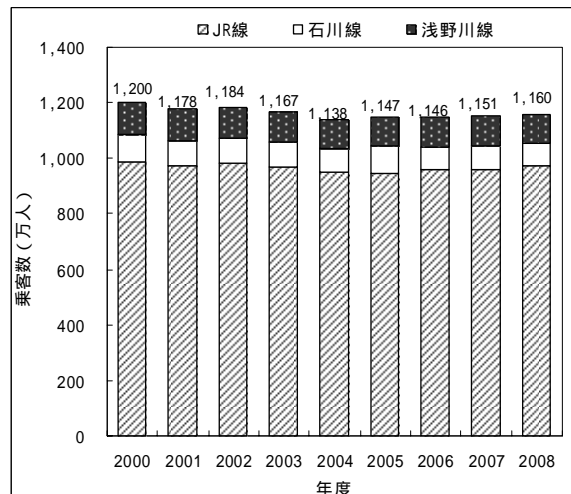


図 2.2-11 鉄道利用者数の推移 (2000～2008年度)

出典：「平成21年度 金沢市統計書 8 運輸・通信」金沢市ホームページ 金沢市統計データ集

(4) 上下水道、電気・ガス

本市では、昭和5年に給水を開始して以来、市民生活の需要の増加に対応し、給水事業の拡張を進め、2008年度末で、給水人口は452,414人、普及率は99.2%となっています(図2.2-12)。

公共下水道の整備については、1960年代に旧市街地を中心に下水道工事に着手して以来、年々処理区域人口は増え続け、2008年度末で413,464人、普及率は93.4%となっています(図2.2-13)。

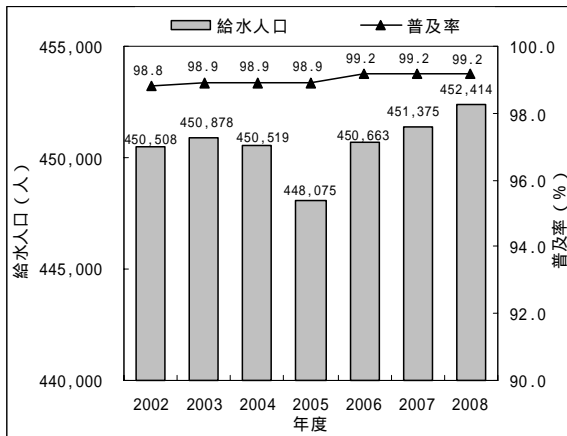


図2.2-12 給水人口及び普及率の推移 (2002～2008年度)

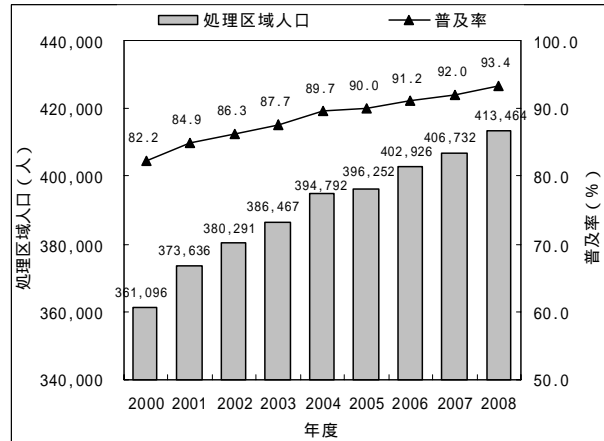


図2.2-13 下水処理人口及び普及率の推移 (2000～2008年度)

出典：「平成21年度 金沢市統計書 13 保健・衛生・環境」金沢市ホームページ 金沢市統計データ集

都市ガスの供給戸数は、近年減少傾向にあり2008年度末で72,501戸、普及率は46.6%となっていますが、販売量は増加傾向にあり2008年度は4,130万 m^3 となっています(図2.2-14、2.2-15)。

また、使用電力量も都市ガス同様に増加傾向にあり、2008年度の使用電力量は1,870GWhとなっています(図2.2-15)。

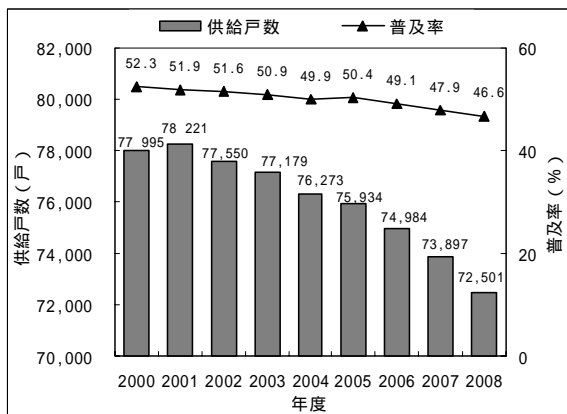


図2.2-14 都市ガス供給戸数及び普及率の推移 (2000～2008年度)

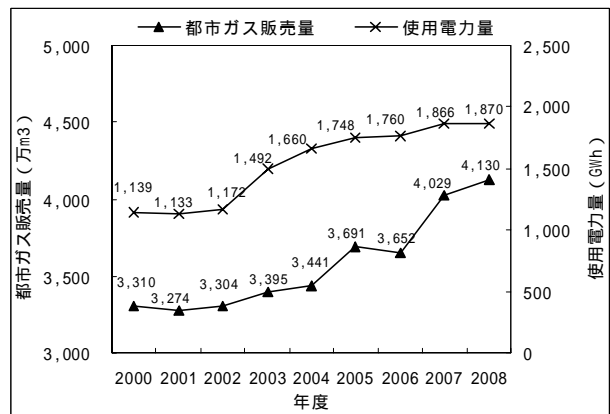


図2.2-15 使用電力量及び都市ガス販売量の推移 (2000～2008年度)

出典：「平成21年度 金沢市統計書 9 電気・ガス・水道」金沢市ホームページ 金沢市統計データ集

(5) 廃棄物

家庭から排出されるごみは全体的に近年減少しており、2008年度の処理量の内訳は、焼却量が86,299t、埋立量が6,752t、資源化量等が12,338tです(図2.2-16)。このほか、地域で回収する新聞・雑誌など集団回収量が年間約8,300tあり、2008年度の一人一日あたりの家庭から排出されるごみ量は約680g、資源化率は約18%です。

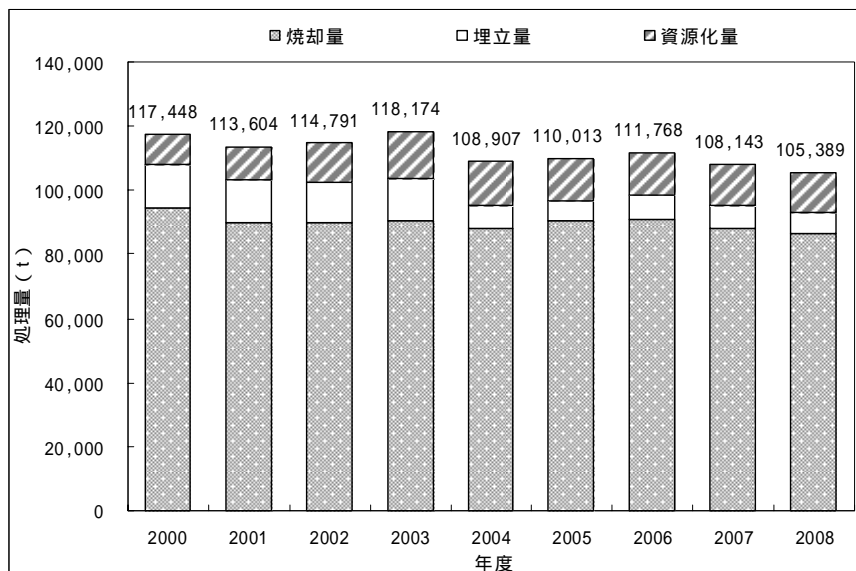


図 2.2-16 家庭系ごみ量の推移 (2000～2008年度)

出典：「平成 21 年度 金沢市統計書 13 保健・衛生・環境」金沢市ホームページ 金沢市統計データ集